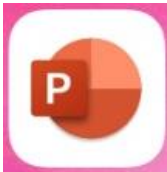
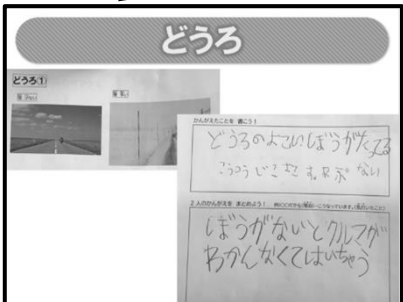
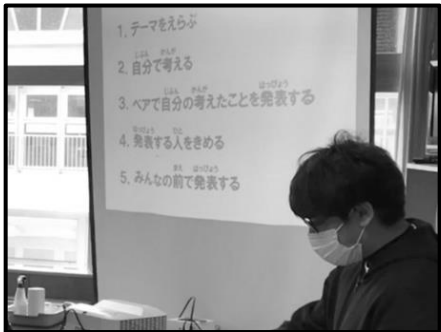


ICT 機器を活用した指導

小单元名	「雪国の家の工夫を知ろう」	対象	高等部第2学年 課題別 学習グループ けやき C 班
期間 (時数)	令和3年2月8日(2)		
題材の目標 ICT 利用 のねらい等	本集団の多くの生徒は、写真やイラスト、映像を使った授業に興味を示し、意欲を持って学習に取り組むことができる。本時「雪国の家の工夫を知ろう」では、修学旅行の事前学習として、雪の少ない地域と雪の多い地域の写真を見比べる活動を行うことで、家にどのような違いがあるのかを知り、旅行当日に驚きだけでなく、道中を楽しんだり、異なる風土を感じたりすることをねらう。 教師の支援として、iPad を使用して写真を提示したり、書き込んで説明したりする。さらに、机間巡視の際に iPad で写真やイラストに書き込みながら助言することで、生徒の思考を促す。		
使用 ICT 機器	・ iPad ・ Apple TV ・ プロジェクター		
使用 アプリケー ション	・ miyagiTouch  ・ Pages  ・ カメラ  ・ PowerPoint  ・ メモ帳  ・ NHK for school 		

指導過程

過程	主な学習活動	生徒への働き掛け（○）と指導上の留意点（●）
導入 （10分）	1 始まりの挨拶をする。 2 前時の復習をし、本時の学習内容を知る。 ・前時学習した雪国の街の工夫について、写真を見ながら振り返る。	○日直の生徒に号令をお願いし、元気よく挨拶するように言葉掛けをする。 ○立たない生徒は個別に言葉掛けをする。 ○スクリーンに投影された写真をよく見て思い出すように促す。 ○発言がない場合は T2, T3 が助言を行う。 PowerPoint で写真やまとめたプリントを映し、前時の復習を行いました。
		  PowerPoint のアニメーション機能を使い、生徒の考えを分かりやすく提示しました。
	・本時は雪国の家の工夫について前時と同様に考えていくことを知る。	●活動の流れが分かるようにスライドに示す。  本時の流れを提示しました。
展開 （30分）	3 北海道と沖縄の家の写真を見比べ、気候によって異なることに気付く。 ・数名が発表する。	○北海道と沖縄の気候の違いについて強調して話す。 ●気候の違いで家の作りが異なることに気付かせる。 ●ここでは、自分たちが住む地域の家とは異なる、ということが分かれば良い。 地図と組み合わせて提示しました。 

4 ペアを作り，どちらか一方が前に出てお題を選ぶ。

5 選んだプリントを解きながら，雪の多い地域の家の特徴について考える。

個人→ペア

- (1) 急な屋根
- (2) 平らな屋根
- (3) 二重の窓
- (4) 玄関の風除室
- (5) 灯油タンクと暖房

○前時と同様の組合せを思い出すように促す。

●ただ選ぶのではなく，抽選形式にして意欲を高める。

●ペアは，取組が進むような組合せをあらかじめ考える。前時の実践の様子から変更がある場合は伝える。

●机は近づけるが，付けるのではなく1 m間を空ける。

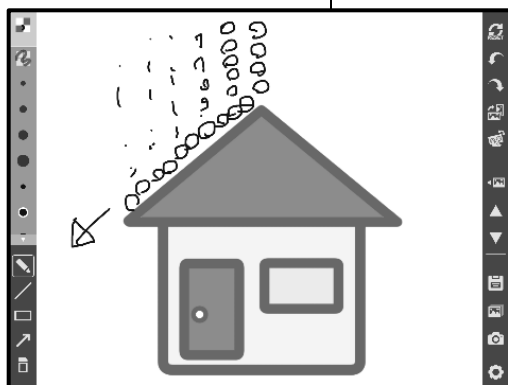
●解きやすいように屋根や窓といったポイントを絞った写真にする。

○教師は適宜支援に入り，「雪がたくさん降ったときどう役に立つか」という観点から，iPadを使いながら助言する。

○書くことが難しい生徒については，意見を聞いて代筆する。



メモ帳を使い，生徒の意見を文章化しました。生徒はそれを書き写しました。



miyagiTouchを使い，イラストに書き込みながら生徒と考えました。



Pagesを使い，授業プリントを拡大し，書き込みながら生徒と考えました。

～休憩（10分）～

○トイレに行く生徒以外は教室で休憩するように話す。

6 ペアごとに考えたことを共有する。 ペア

- (1) 友達に違う考えがある場合は転記する。
- (2) 発表者を決める。

7 ペアの代表者が発表する。

- (1) 急な屋根は雪が落ちるように…
 - (2) 平らな屋根は雪が落ちると危ないから…
 - (3) 二重の窓は冷気が部屋に入ってこないように…
 - (4) 玄関は冷気が家に入ってこないように…
 - (5) 灯油タンクはすぐに給油できるように…
- など

○教師は適宜間に入り、2人で共有できるようにする。

●プリントを書き終えたペアから写真を撮り、発表時に表示できるようにしておく。

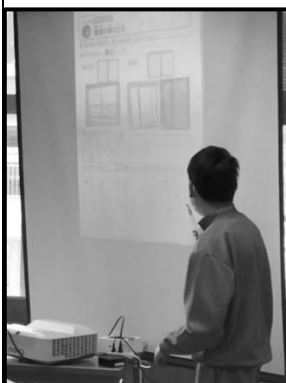
●発表ペアのプリントをスクリーンに投影し、発表内容が伝わりやすいようにする。

○発表者には、全員に伝わる声の大きさと話すように言葉掛けをする。

○スクリーンに注目し、発表者の話を静かに聞くように言葉掛けをする。

○(1)(2)について…昔は急な屋根が多かったが、近年では平らな屋根が多いことについて補足する。

●想定した解答と異なる場合でも、取り上げた上で他にどのようなことが考えられるかを全員で考えるようにする。



カメラ機能を使い、生徒の授業プリントを撮影・投影しました。注目してほしい所は拡大し、補足説明を行いました。

8 取り上げた5つの項目について、映像を見て確認する。

○スクリーンに注目するように言葉掛けをする。

○生徒が考えた内容と合致している場合は称賛する。



関連動画で本時の学習を振り返りました。

9 終わりの挨拶をする。

○次回は、これまで学習してきたことを、模造紙にまとめる活動になるということを伝える。

○日直の生徒に号令を促し、元気よく挨拶するように言葉掛けをする。

